

# 菅政権のコロナ無策から **市民の命・くらし** と地域経済を守ります

## 日本共産党の2議席で市民の願い さらに前進を!

日本共産党の谷口議員は4年前の選挙での公約実現めざし、市民のみなさんや他の議員と協力して、子育て支援、農林業の発展や小規模事業者の仕事確保に全力を尽くしてきました。

### みなさんと力を合わせ 公約実現に奮闘

### 論戦や申し入れなど、 新型コロナ対策に全力

#### ●市民の暮らしを守る論戦は独壇場

今期、高い国民健康保険税問題は6回、介護保険問題も4回取り上げました。介護保険料は7期まで連続して引き上げられ、県内で一番高い保険料になっていましたが、21年度からの第8期計画では、保険料の引き下げが実現しました。新型コロナ対策でも4回の庄原市への申し入れを行いました。

#### ●一般質問は117回

谷口議員は東城町議時代を通じて29年間、毎議会で質問に立ち、12月議会で通算117回になりました。

#### ●学校統廃合問題で積極的な問題提起

今期4年間では、学校適正規模・適正配置基本計画の問題点など教育問題で11回の質問。「新学習指導要領は複式学級を想定していない」といった市教育委員会の誤ったメッセージに対して、「複式教育も想定している」と文科省のレクチャーで確認を取ったうえで論陣をはり、基本計画の見直しを求めました。



#### 憲法をくらしに活かす

消費税10%への増税に反対する意見書（2019年3月議会）等、他党派と協力して可決した意見書とともに、谷口議員が単独で提出した意見書も4件可決されました。

- ★安心、安全の医療・介護の実現と夜間交替労働の改善を求める意見書
- ★介護労働者の労働環境及び処遇の改善を求める意見書
- ★日米地位協定の見直しを行うことを求める意見書
- ★国の責任による「20人学級」を展望した少数教育の前進を求める意見書





**ゆりこ  
ふじき百合子**

1955年生まれ  
都立公衆衛生看護学院看護科卒  
新日本婦人の会県北支部長  
広島医療生協庄原支部長

共産党県北地区委員(現)  
庄原同仁病院看護師長  
訪問看護ステーションえのかわ所長  
水越町598  
☎0824-74-1190  
携帯電話 080-1906-4673  
家族 夫、義母



**たにくち たかあき  
谷口 隆明**

1954年生まれ  
立命館大学経済学部卒  
東城町議4期  
庄原市議4期(現)  
副議長(現)

共産党県北地区委員長(現)  
帝釈小学校PTA会長、東城高校PTA会長、  
庄原市原木椎茸生産協議会会長歴任  
東城町帝釈宇山447  
☎08477-6-0151  
携帯電話 090-2291-5956  
家族 妻、次男夫婦、孫2人

生活相談に無料でとりにくんでいます。気軽にご相談ください。

キ リ ト リ セ ン

日本共産党庄原市後援会加入申込書  
2021年 月 日

おところ \_\_\_\_\_

おなまえ \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

紹介します

おところ \_\_\_\_\_

おなまえ \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

日本共産党の見解を紹介します

**庄原民報**

2021年2月号外  
発行：日本共産党庄原市委員会  
〒727-0011  
庄原市東本町2-6-6  
☎0824-72-3366 Fax74-6336

# みなさんの声が生きるくらし優先の市政を実現します

日本共産党

## 市民が主役の市政と議会に

学校統廃合問題に象徴的なように、市民の実態や声を聞いて政策立案するのではなく、先に計画ありきの市政となっています。日本共産党は市民が主役の立場で引き続き奮闘します。みなさんのご支援をお願いします。

### コロナ対策・地域医療の充実を

- 希望する市民全てがPCR検査を受けられる体制を整備する
- 感染者を隔離、保護、治療する体制の整備
- 庄原日赤の再編計画は見直し、公的病院を守る

### 子育てしやすいまちづくり

少子化に歯止めがかかっていません。若者が安心して子育てできる環境づくりは急務です。

- 子ども医療費を18歳まで無料に
- 給食費の負担軽減
- 放課後児童クラブ施設の充実
- 働く場所の確保を含めた定住対策の充実

### 「学校適正規模・適正配置

#### 基本計画」の見直し

- これまで培った小規模教育の良さを活かし地域に根ざした教育の充実

### 高齢者や障害者も

#### 安心してくらしらせるまちづくり

年金減額、介護保険料の引き上げ、利用者負担の引き上げが高齢者の生活を圧迫しています。

- 介護保険料と利用料の引き下げ
- 居宅サービス、介護サービスの充実
- 国民健康保険税の引き下げと18歳以下の均等割の廃止
- 生活交通体系の整備充実
- 市道や生活道路の整備

### 地域農林業・小規模企業支援

庄原の経済を支える農林業が発展してこそ地域の商店も活性化します。家族農業や、小企業者の営業とくらしを守ります。

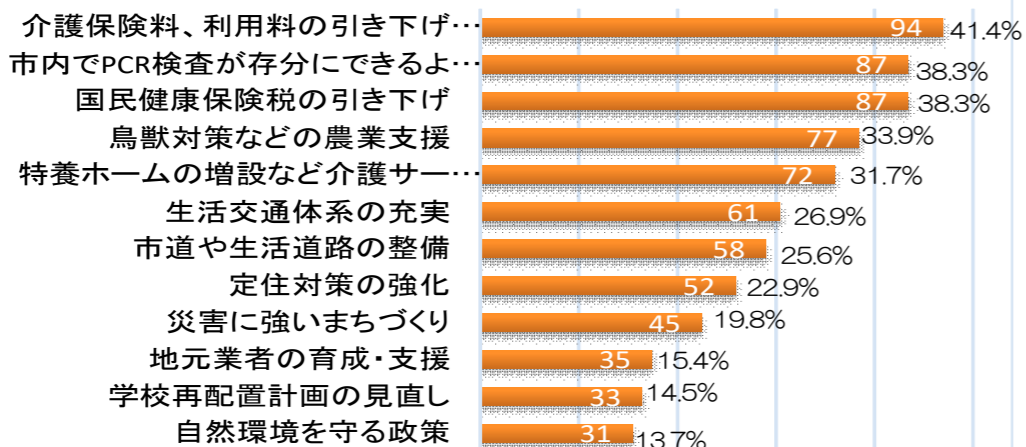
- 地域と小規模農家を守る農業支援
- 地元農産物を活用した産業の育成
- 鳥獣被害対策の充実
- 自伐林業家の育成
- 木の駅プロジェクトの全市での実施
- 吾妻山ロッジの営業継続など観光拠点維持
- 小規模事業者の後継者育成支援



## 市民アンケートの結果 くらしが良くなったは4%

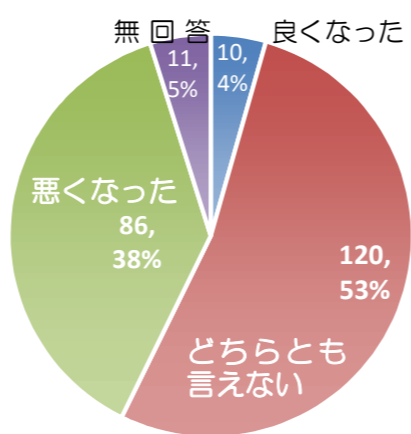
22項目から5項目までを選んでいただきました。30以上の賛同があったものについて掲載しています。比率は227通に対するものです。

### 市政で力を入れて欲しいこと



日本共産党庄原市委員会が昨年11月から今年1月にかけて行った市民アンケートの結果の概要をお知らせします。回答数227通の時点です。

### くらし向き



### アンケートに寄せられたコメントの一部

★暮らし向きは7～8年間、さほど変わりません。相変わらず切りつめての生活です。それより安倍政権の残したものは日本の政治の将来を基本から破壊してしまったことです。(60代)

★年金生活なので、経済的には特に大きな変化はありませんが、安倍政権の下で民主主義が損なわれる事を何度も目にし、腹を立てることが多かったです。(70代)

★共働きでも生活に余裕がない。20年前と賃金が変わらない。町内の賃金は低く、家賃、土地代は都会並み(30代)

協力できることに○印をお付けください

1. 赤旗(日刊・日曜版)を読みます
2. 後援会ニュースを配ります
3. 後援会員の加入を訴えます
4. ビラを配ります
5. 支持を増やします
6. 運転手ができます
7. アナウンサーができます
8. 電話かけができます
9. 事務作業ができます
10. 選挙募金ができます
11. 近所の人を集めて小集会ができます
12. その他(具体的に )